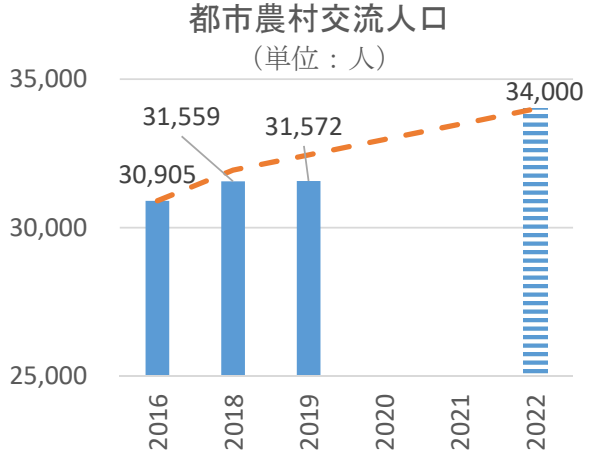


達成目標の進捗状況

都市農村交流人口 (企画振興部調)	年度	基準値 (2016)	目標値 (2022)	最新値 (2019)
	実績値	30,905人	34,000人	31,572人

都市農村交流に取り組む団体の活動に対して「地域発 元気づくり支援金」で支援することなどにより、2019年度の都市農村交流人口は31,572人（基準年度から667人増）と増加しているが、令和元年東日本台風（台風第19号）による収穫体験イベントの中止等の影響もあり小幅な伸びとなっている。



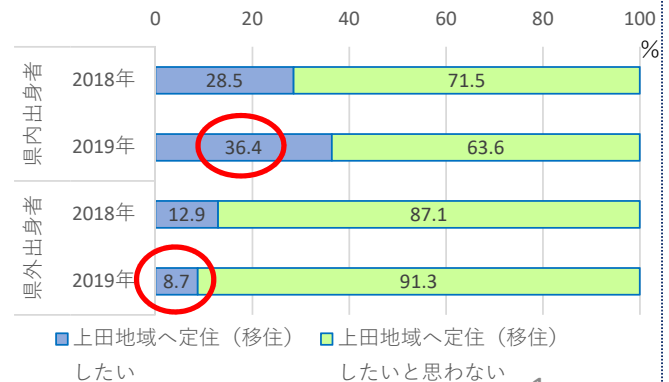
【重点政策の評価】

若者等の地域への定着・就業促進に向け、「『長野県就業促進・働き方改革戦略会議』上田地域会議」において取組の成果や課題を共有しながら施策を推進するとともに、都市農村交流の促進を図るなど、地域コミュニティを支える人材の活躍推進に向けた取組が進展している。

【今後の取組の方向性】

- 管内大学生の地域への定住・移住希望者が依然として少ないことから、若者等の地域への定着・就業促進に向け、産学官が連携して各教育段階における施策を推進するとともに、事業効果を検証しつつ取組の更なる充実を図ることが必要
- 都市農村交流を促進するため、取組団体の確保・育成を支援するとともに、「地域発 元気づくり支援金」等による地域コミュニティの活性化を図る取組に対する支援が必要

管内大学生の地域への定住・移住希望状況 (2018、2019年アンケート調査結果)



達成目標の進捗状況

ワイン用ぶどう栽培面積 (上田地域振興局調)	年	基準値 (2016)	目標値 (2022)	最新値 (2019)
	実績値	75ha	110ha	95ha
常設農産物直売所売上高 (上田地域振興局調)	年度	基準値 (2016)	目標値 (2022)	最新値 (2019)
	実績値	18億円	22億円	18億円

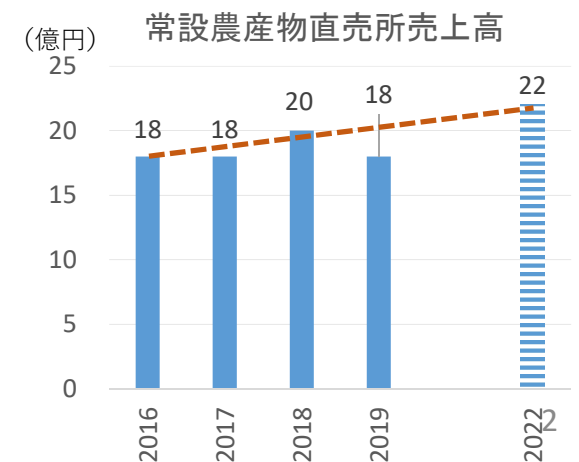
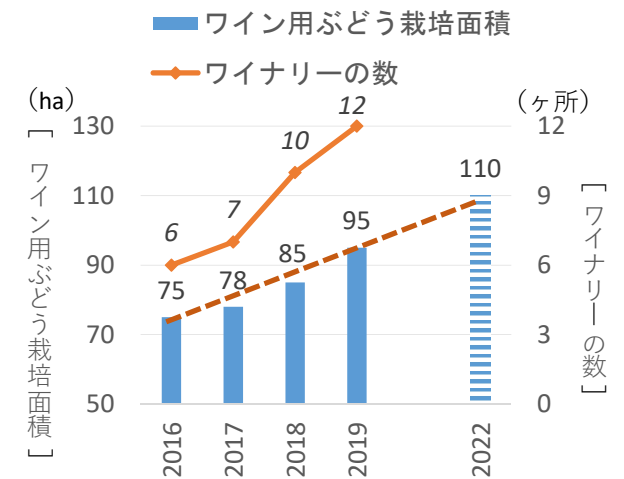
- 県営のほ場整備や新規就農者へのきめ細かな支援等により、2019年のワイン用ぶどう栽培面積は95ha（基準年から20ha増）と順調に推移している。
- 令和元年東日本台風の影響やマツタケの不作などにより来客者数が減少したことから、2019年度の常設農産物直売所売上高は18億円と前年度に比べ2億円の減となっている。

【重点政策の評価】

「東信州次世代産業振興協議会」や「千曲川ワインバレー特区連絡協議会」など、産学官金連携、広域連携が進められ、地域の特色を生かした産業振興の取組が進展している。

【今後の取組の方向性】

- 成長性の高い次世代産業の創出に向け、「東信州次世代産業振興協議会」による研究開発や人材育成等の活動に対する支援が必要
- 農産物の地域内循環の推進を図るため、地域産品の販売拠点である直売所の魅力アップと経営強化への支援が必要
- 「千曲川ワインバレー特区連絡協議会」と連携しワイン産業の振興とワインを活かした観光・交流施策を推進するとともに、林業の振興に向けては、東信カラマツのブランド化や未利用材の木質バイオマス燃料への利用拡大が必要



## 達成目標の進捗状況

観光地延利用者数 (観光部調)	年	基準値 (2012~2016の平均)	目標値 (2022)	最新値 (2019)
	実績値	692万人	692万人	692万人
観光消費額 (観光部調)	年	基準値 (2012~2016の平均)	目標値 (2022)	最新値 (2019)
	実績値	167億円	167億円	147億円

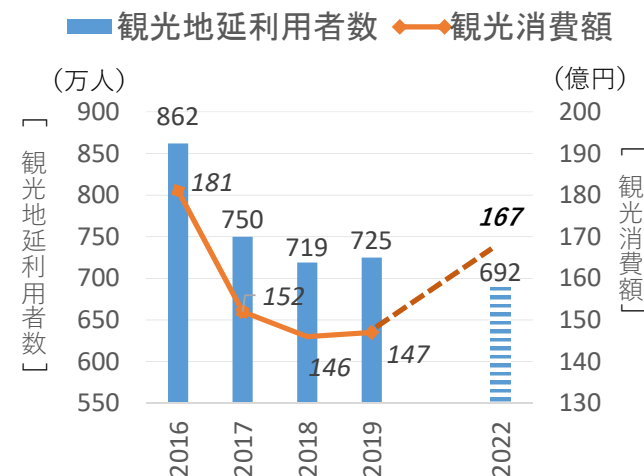
- 大河ドラマ「真田丸」が放映された2016年以降、観光地延利用者数は減少しているものの、2019年は725万人と前年に比べ6万人増加している。
- 上田地域は、全県に比べ日帰り客や県内客の割合が高いことに加え、外国人延宿泊者数が少ないことから、2019年の観光消費額は147億円と目標値を下回っている。

### 【重点政策の評価】

「信州上田地域 健康パーク推進協議会」により、官民学が協働して体験型・滞在型・周遊型の観光地域づくりの検討を進めるとともに、外国人観光客の受入環境整備を進めているが、取組の成果が十分表れていない。

### 【今後の取組の方向性】

- 令和元年東日本台風及び新型コロナウイルス感染症により管内の観光地は深刻な影響を受けていることから、各種施策を総動員し観光産業を支援することが必要
- 「信州上田地域 健康パーク推進協議会」における関係者間の更なる連携強化により魅力ある観光地域づくりを進めるとともに、観光地へのアクセス道路の改良や歩道整備など、観光地域のインフラ整備が必要



令和元年観光地利用者数の状況

区分	日帰り客・宿泊客の割合		県内客・県外客の割合	
	日帰り客	宿泊客	県内客	県外客
上田地域	76.0%	24.0%	50.3%	49.7%
全県	67.1%	32.9%	36.3%	63.7%

外国人延宿泊者数の状況

区分	外国人延宿泊者数(人泊)		全県に占める割合	
	H29	H30	H29	H30
上田地域	14,254	17,484	1.4%	1.5%
全県	1,012,973	1,202,958	—	—

## 達成目標の進捗状況

移住者数 (企画振興部調)	年度	基準値 (2016)	目標値 (2022)	最新値 (2019)
		実績値	98人	160人

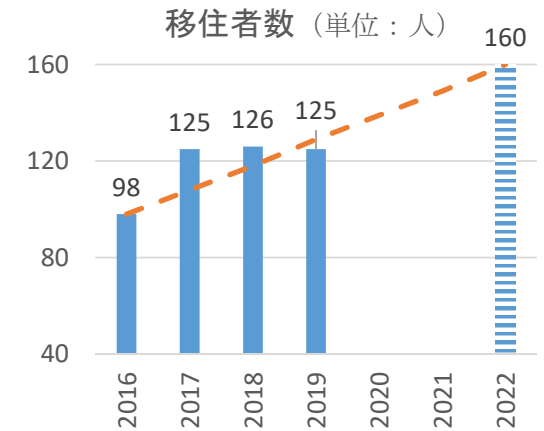
管内市町村と連携した移住体験ツアーの開催等による地域の魅力発信や、市町村担当者による移住希望者へのきめ細かな対応などにより、2019年度の移住者数は125人（基準年度から27人増）と概ね順調に推移している。

### 【重点政策の評価】

地域医療人材拠点病院の指定などによる医師確保や道路網の整備など住環境整備の取組が進展するとともに、移住体験ツアー参加者が上田地域への移住や二地域居住を決めるなど、取組の成果が表れてきている。

### 【今後の取組の方向性】

- 移住希望者は「自然豊かな環境での子育て」等を求めており、また「新しい生活様式」の下でテレワークなどが拡大し、地方移住への関心が高まっていることから、引き続き自然環境を活かしたライフスタイルの提案など、管内市町村と連携した効果的な情報発信が必要
- 医師等の確保や信州ACEプロジェクトの推進により地域住民の健康づくりを推進するとともに、生活道路や他地域との交流を推進するための道路網の整備など、生活基盤の充実が必要



移住することで叶えたいライフスタイル  
(2019年移住体験ツアー等のアンケート調査結果)

